＜資料1＞北朝鮮に関する英仏独共同声明

2019年8月27日

英国、フランス、ドイツは、ここ数週間の北朝鮮による弾道ミサイルの連続的な発射に対して大きな懸念を抱いていたため、その他の事項として、簡潔な状況説明を要請した。我々は、木曜日に予定していた定例協議よりも早期の議論を歓迎する。我々は、国連安保理決議違反である度重なる挑発的なミサイル発射に対する非難を繰り返している。

北朝鮮は完全で、検証可能かつ不可逆的な非核化への具体的な措置を講じなければならない。我々は、トランプ大統領と金正恩が6月30日に合意したように、北朝鮮が米国と有意義な交渉に従事することを強く要請する。

外交的に再び関与し、非核化を前進させる北朝鮮の真剣な努力は、朝鮮半島とその地域の安全と安定、また北朝鮮の人々のより明るい未来を保証する最善の道である。北朝鮮の体制は国民の悲惨な現況に責任を負っている。

北朝鮮の核および弾道ミサイル計画が解体されるまで、国際的制裁はそのまま維持され、完全かつ厳格に執行されなければならない。安保理がそれに関する決議を取りまとめるため結束することは極めて肝要である。（原文英語。訳：ピースデポ）

出典：<https://new-york-un.diplo.de/un-en/news-corner/190827-e3-dprk/2241674>